

# プラスワンメールマガジン

第9号 平成22年4月28日

若葉青葉をわたる風も快く感じられる季節となり、いかがお過ごしでしょうか。皆さんはじめまして！前任者の思いを引き継ぎ『プラスワンメールマガジン』の担当をさせていただきます嶋本です。前任者同様、今後とも宜しくお願いいたします。

今年度、最初の『プラスワンメールマガジン』の発行となるのですが、早いもので創刊2年目に突入いたしました。

これからも『プラスワンメールマガジン』で皆さんと繋がっていきたく、また、『プラスワンメールマガジン』を通していろいろと学んでいきたいと思っております。

では、今年度初の『プラスワンメールマガジン』をお楽しみください！

- 第 9 号** 【1】プラスワンコラム！ ~ 福本さんの巻 ~  
【2】なるほどボランティア！  
**も く じ** ~ ボランティア活動は、まちを元気づけるビタミン剤！ ~  
【3】プラスワン体験記！ ~ 東与賀ボランティアの友の巻 ~  
【4】プラスワン活動拠点のご紹介！ ~ みやき町エリアの巻 ~

**【1】プラスワンコラム！ ~ プラスワン運動に携わる思い ~**  
『子どもたちの健全育成のため、若者の自立支援に取り組んでいます！』  
特定非営利活動法人 NPO スチューデント・サポート・フェイス 福本 優

NPO スチューデント・サポート・フェイス（以下、S.S.F.）は、子どもの健全育成を目的に設立された特定非営利活動法人で、不登校、ひきこもり、非行など、さまざまな困難を抱える子どもたちやニート、フリーターなど若者の自立支援に取り組んでいます。

S.S.F.のアウトリーチ（訪問支援）は、「お兄さん」「お姉さん」的存在として、受け入れられやすい20代30代の若いスタッフを中心に、家庭や学校などの要請に応じて直接家庭を訪問し教育支援を行う、いわゆる「家庭教師方式」で行っています。

これまでの相談支援機関は、その場所に行かなければ支援が受けられない「来訪型」の支援機関が多く、さまざまな事情で外出できないために支援が受けられない子どもや、若者が多くいました。そのような方へのサポートをするために私たちのアウトリーチ活動は、始まりました。

私たちの目標は、子どもや若者の笑顔を取り戻すことです。彼らが「何とかやれた!」「乗り越えられた!」そう思ってもらえるような手助けが、できていけたらと思っています。

動き出せず<sup>かっとう</sup>にいた子どもたちが、ちょっとだけ動きを見せてくれたとき、心の葛藤を話してくれたとき、自分なりの答えを見つけようとしているとき... 一見、彼らが成長しているように感じられますが、実は私たちが育てられているような気がします。

これらの活動に伴って、訪問支援を行う「スチューデント・サポート（訪問支援員）」を中心に、各種ボランティアも随時募集中です。子どもたちや若者の支援に興味がある方は、一度S.S.F.の活動について、お話を聞いてみませんか？お問い合わせお待ちしております。

\* 詳しい情報はホームページ<http://www1.odn.ne.jp/faith1019/>をご覧ください。



特定非営利活動法人 NPO スチューデント・サポート・フェイス

## 【2】なるほどボランティア！～県社協からのワンポイントレッスン～ ボランティア活動は、まちを元気づけるビタミン剤！

今年度も引き続き、このコーナーを担当させていただきます、佐賀県社協の野添です。精一杯の情報をお送りさせて頂きたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

さて、新年度になりまして新天地でのご活躍をされている方も多いかと存じますが、ボランティア活動も「自分の意思で希望し、積極的に参加する」という姿勢が、何より大切です。

いろんなところで、新しい人たちと出会い、ふれあい、互いに学び、楽しみ、生きる喜びを分かち合う。それが、よりよい社会づくりにつながっていきます。

ボランティア活動は、自分自身をそして、みんなが暮らしているまちを、一層元気づけるビタミン剤でもあります。

(by 野添)

### **【3】プラスワン体験記 ～できることから始めてみませんか？～ 東与賀ボランティアの友（佐賀市東与賀町）**

昭和51年、それまで町において各々で活動していた奉仕グループ「三九会」と「五十三会」が、地域のボランティア活動を一緒に盛り上げていこうという趣旨から活動を合同で行うようになったのがきっかけとなり、「東与賀町ボランティアの友」が誕生。当初の会員は7名でしたが、知的障害児施設の訪問活動から始め、これまで交流や清掃などの活動を行ってきました。

年齢を問わず、会員相互が共に協力しながら、「自分にできることをできる時に」をモットーに、楽しくボランティア活動を継続することによって、小さなボランティア活動でも充実した内容を展開することを目標としています。

発足以来34年、ひとり暮らし・高齢者夫婦世帯の方を対象にした会食交流会の実施や、障害児施設や高齢者福祉施設への訪問・奉仕活動を行うとともに、町のシンボルでもある干潟海岸の清掃活動も実施しています。

また、過去の活動の中には、在宅高齢者への弁当の宅配ボランティア活動や、特別支援学校・知的障害児施設の子どもたちと町特産のイチゴ狩りも実施し、地域のふれあい活動を行ってきたところです。

### **【4】プラスワン活動拠点のご紹介！～発見！あなたの街の活動拠点～ みやき町社会福祉協議会ボランティアセンター**

みやき町社会福祉協議会ボランティアセンターは、みやき町ボランティア連絡協議会を中心として、町内のボランティア活動の推進に努めています。

主な事業としては、ボランティアコーディネート、ネットワークの構築、研修会や広報、そしてボランティア育成事業など、多種多様な内容を広域的に展開しています。なお、ボランティア連絡協議会には約500名（平成21年度）を超える会員が登録されています。

みやき町は、平成21年9月現在、人口26,752人、65歳以上の人口は7,107人、高齢化率26.56%（地区によっては40%超）となっており、これらのことから、昨年度来、高齢者の健康や仲間作りをテーマに「いきいきふれあいサロン」の立ち上げに力を入れています。各地区でのサロン開催に向け、意見交換会や研修などを実施し、活動者の育成を図っているところです。



発行責任者

佐賀県男女参画・県民協働課 課長 稲富 正人

編集担当

佐賀県男女参画・県民協働課

C S O活動支援担当 係長 山田 博則

C S O活動支援担当 嶋本 悟司

[danjo-kenmin@pref.saga.lg.jp](mailto:danjo-kenmin@pref.saga.lg.jp)

TEL:0952-25-7374

社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会

まちづくり課 野添 大介

TEL:0952-23-2145